

「不登校対策チェックシート」を活用した各学校の取組

「不登校対策チェックシート」(夏季休業編)に係るアンケートへのご協力ありがとうございました。回答していただいた中から、「不登校対策チェックシート」を活用した各学校の取組事例について紹介します。他校でも参考になるような取組ですので、是非目を通していただき、今後のよりよい支援に生かしていただければと思います。

1. 子どもの状態把握、校内での情報共有について ※(校種 主となる人)



状態把握

- 夏季休業中は登校日やプール開放、放課後児童クラブなどの機会に、気になる子どもの状態を把握しておくように職員に呼びかけた。(小学校 管理職)
- 不登校傾向にある児童について、どの状態(0~4)であるかを、シートに整理した。(小学校 担任)
- 各学年で現状を確認し、休業前・中・後の具体的な手立てや役割分担について確認した。8月下旬にあらためて各学年で現状を確認し、休業終了前と2学期開始後の手立てについて確認した。(中学校)

○気になる児童と支援内容を一覧表にまとめ、管理職や関係職員と情報共有ができるようにした。(小学校 担任)

○夏季休業中の「校内子ども支援会議」及び「教育相談研修会」の場で、保護者や子どもの様子等について、チェックシートを使って全職員で情報共有を行った。(中学校)



情報共有

2. 組織的な支援策の検討や見直しについて



支援策の検討や見直し

- 学年団や教育相談担当、特別支援教育コーディネーター、管理職等で、誰がどのような支援を行うかを検討した。(小学校)
- 全職員にチェックシートを配付し、気になる生徒が夏季休業後に登校しづらくなる要因について考えた。その後、全職員で共通理解を図り、方針を検討した。(中学校)

3. 子どもや保護者への具体的な支援について



具体的な支援

- 子どもの状態(0~4)を確認し、担任が中心となって、夏季休業中に電話連絡や家庭訪問を行い、児童・保護者とつながりをもった。(小学校 担任)
- 気になる児童の保護者との個人懇談の際に、チェックシートの内容に沿って話を進めた。(小学校 担任)
- チェックシートの中のチェック項目を載せた教育相談だよりを作成し、夏季休業前に保護者に配付した。(中学校 教育相談担当)

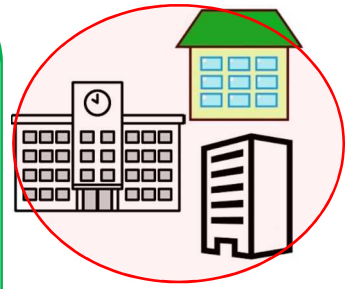
4. 学校以外の施設との情報共有、組織的な支援について

○市町の福祉課や児童相談所との情報共有の際に、チェックシートの視点をういて話し合いを行った。(中学校)

○教育支援センター(適応指導教室)に通う生徒に対して、担当者と連絡をとって訪問を行い、休業中も生徒や保護者との関係が途切れないようにした。

また、2学期の学校行事等への参加意欲がもてるように、保護者や本人と話をした。(中学校 担任)

○NPO 法人やSC、SSW、児童相談所など、専門の方を交えたケース会議を開き、子どもや保護者の支援について共通理解をもち、連携して対応している。(小学校)



学校以外の施設との
情報共有、組織的な支援

5. その他の取組事例

○教頭が趣旨説明を行い、全職員に配付した。該当児がいる学級には、児童数分増刷りして配付した。チェック後は管理職が目を通し、進捗状況を確認したり全職員に活用を呼びかけたりした。(小学校)

○チェックシートは、それぞれの立場で、今行っている支援がどうか(足りない部分を洗い出し、今後の支援の改善に生かすため)を振り返るものとして活用している。(小学校)

○このチェックシートをきっかけに、学校オリジナルのチェックシートを作成したり、支援体制の見直しを行ったりした。(小学校)



6. チェックシートに関する先生方のご感想やご意見

○配付時期が早まると、さらに検討する時間が増えると思います。

○教育センターのホームページに「不登校対策チェックシート」を含む不登校関係の資料があることを今まで以上にPRをしていただくと、より効果的に活用できると思います。

○チェックシートは文字が多いように感じるので、シンプルで、ぱっと見て分かるような構成にした方が活用しやすいと思います。

○チェックシートにある支援は、これまでも組織として行ってきました。しかし、シートを繰り返し見て確認することで、各担当者の動きがより見えやすくなり、共通理解することができたと感じました。

「チェックシートを活用して、子どもや保護者へのよりよい支援につながった」という感想をたくさんいただきました。また、先生方からいただいたご意見やご要望等は、今後のチェックシート作成に生かしていきたいと思っています。

11月末に「冬季休業編」、2月に「新学年編」を配付予定ですので、是非活用して下さい!

